

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 鳥居薬品株式会社

コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 紀彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 千葉 昌

TEL 03-3231-6811

四半期報告書提出予定日 平成21年11月9日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,469	14.4	3,494	37.5	3,611	32.9	2,046	6.4
21年3月期第2四半期	18,762	—	2,541	—	2,718	—	1,923	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	72.31	—
21年3月期第2四半期	67.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	83,066	73,558	88.6	2,599.00
21年3月期	81,433	72,034	88.5	2,545.10

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 73,558百万円 21年3月期 72,034百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	21.00	36.00
22年3月期	—	18.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	14.9	6,100	24.5	6,300	19.8	3,500	0.7	123.66

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	28,800,000株	21年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	497,382株	21年3月期	496,840株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	28,302,854株	21年3月期第2四半期	28,304,447株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の売上高は、21,469百万円と前年同期に比べ2,706百万円(14.4%)増加しました。

これは、平成21年3月から「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」の販売を開始したことに加え、4月から「セロトーン(制吐剤)」の販売が当社に一本化されたこと等によるものです。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり前年同期比10.8%の減となりましたが、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は前年同期比51.8%の増、「セロトーン」は前年同期比137.2%の増となった他、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」は前年同期比8.4%の増、「ドボネックス軟膏(尋常性乾癬治療剤)」は前年同期比30.7%の増と伸長しております。

費用面におきましては、売上原価は7,944百万円と前年同期に比べ976百万円(14.0%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費並びに販売促進費が増加したこと等により10,030百万円と前年同期に比べ776百万円(8.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,494百万円と前年同期に比べ953百万円(37.5%)増加し、経常利益は3,611百万円と前年同期に比べ893百万円(32.9%)増加しました。四半期純利益につきましては2,046百万円と前年同期に比べ123百万円(6.4%)増加しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、83,066百万円と前事業年度末に比べ1,633百万円(2.0%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は5,719百万円、投資その他の資産は1,634百万円減少しましたが、現金及び預金は4,022百万円、有価証券は3,002百万円、受取手形及び売掛金は2,015百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、9,507百万円と前事業年度末に比べ109百万円(1.2%)増加しました。これは、買掛金は1,027百万円減少しましたが、未払法人税等が1,024百万円、退職給付引当金が242百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、73,558百万円と前事業年度末に比べ1,524百万円(2.1%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,452百万円増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、36,289百万円と前事業年度末に比べ5,697百万円(13.6%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が3,590百万円、減価償却費が664百万円となり、売上債権の増加額が2,015百万円、仕入債務の減少額が1,027百万円、法人税等の支払額が529百万円となったこと等により1,273百万円の収入となりました。(前第2四半期累計期間は1,606百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入が1,693百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が6,500百万円、投資有価証券の取得による支出が814百万円、有形固定資産の取得による支出が629百万円となったこと等により6,336百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は90百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が594百万円となったことにより634百万円の支出となりました。(前第2四半期累計期間は481百万円の支出)

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2 四半期累計期間の業績を踏まえ、前回発表(平成21 年4 月30 日「平成21 年3 月期決算短信(非連結)」)の予想数値を修正しております。

売上高は、「レミッチカプセル」の販売状況が計画を上回って推移していること等により、前回発表の予想数値を上回る見込みです。

また、利益面につきましても、売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費が計画より減少する見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想数値を上回る見込みとなりました。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は429 億円(対前回予想2.9%増)、営業利益は61 億円(対前回予想22.0%増)、経常利益は63 億円(対前回予想18.9%増)、当期純利益は35 億円(対前回予想16.7%増)を見込んでおります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,673	4,650
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	28,623	34,342
受取手形及び売掛金	16,488	14,473
有価証券	7,694	4,692
商品及び製品	3,519	3,706
仕掛品	401	482
原材料及び貯蔵品	1,219	1,041
その他	864	885
流動資産合計	67,485	64,275
固定資産		
有形固定資産	6,431	6,341
無形固定資産	645	678
投資その他の資産	8,503	10,138
固定資産合計	15,581	17,157
資産合計	83,066	81,433
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,120	4,148
未払法人税等	1,579	555
賞与引当金	1,178	1,128
役員賞与引当金	18	31
返品調整引当金	4	3
その他	2,245	2,322
流動負債合計	8,147	8,190
固定負債		
退職給付引当金	950	707
その他	409	500
固定負債合計	1,360	1,208
負債合計	9,507	9,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	62,562	61,110
自己株式	△855	△854
株主資本合計	73,312	71,861
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	245	172
評価・換算差額等合計	245	172
純資産合計	73,558	72,034
負債純資産合計	83,066	81,433

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	18,762	21,469
売上原価	6,967	7,944
売上総利益	11,795	13,525
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,559	1,823
給料及び手当	2,112	2,151
賞与引当金繰入額	1,006	1,005
研究開発費	461	778
その他	4,113	4,272
販売費及び一般管理費合計	9,253	10,030
営業利益	2,541	3,494
営業外収益		
受取利息	148	97
受取配当金	18	15
為替差益	—	2
その他	12	11
営業外収益合計	179	126
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	1	—
その他	1	9
営業外費用合計	2	10
経常利益	2,718	3,611
特別利益		
取引契約終了一時金	600	—
特別利益合計	600	—
特別損失		
固定資産除却損	18	21
ゴルフ会員権評価損	11	—
減損損失	83	—
特別損失合計	112	21
税引前四半期純利益	3,206	3,590
法人税等	1,283	1,543
四半期純利益	1,923	2,046

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,206	3,590
減価償却費	631	664
減損損失	83	—
受取利息及び受取配当金	△167	△112
支払利息	—	0
固定資産除売却損益(△は益)	18	21
ゴルフ会員権評価損	11	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,080	△2,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	356	89
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,472	△1,027
未払金の増減額(△は減少)	△555	△223
その他	△423	705
小計	2,768	1,691
利息及び配当金の受取額	174	112
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△1,335	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606	1,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△6,500
定期預金の払戻による収入	50	—
有価証券の取得による支出	△996	—
有価証券の売却及び償還による収入	893	1,693
有形固定資産の取得による支出	△502	△629
無形固定資産の取得による支出	△34	△84
投資有価証券の取得による支出	—	△814
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	2
その他	△1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△6,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△481	△594
リース債務の返済による支出	—	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△481	△634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,033	△5,697
現金及び現金同等物の期首残高	39,489	41,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,523	36,289

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。



2010年3月期 第2四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P. 1	1. 四半期貸借対照表	P. 5
2. 財政状態	P. 1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P. 8
1. 四半期損益計算書	P. 2			
2. 製商品売上高	P. 3			
3. 売上原価	P. 4			
4. 減価償却費	P. 4			
5. 研究開発費	P. 4	【予想数値に関する注意事項】	P. 8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

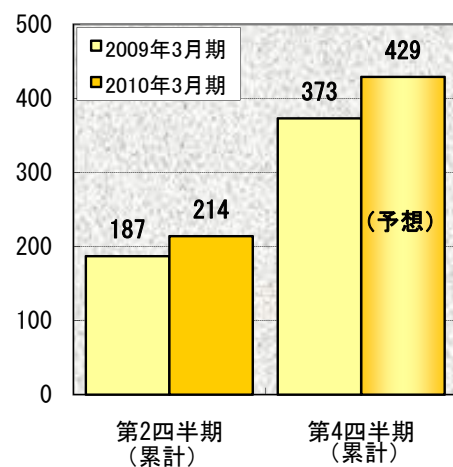
2009年10月29日

I. 主な経営指標等の推移

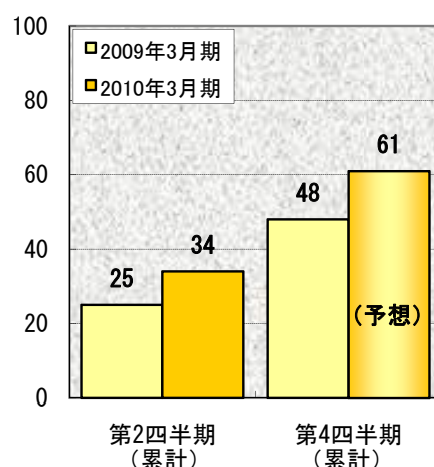
1. 経営成績

	2009年3月期				2010年3月期			2010年3月期予想※		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第2四半期	対前年同期増減(率: %)		対前期増減(率: %)		
	(累計)				(累計)					
売上高	9,479	18,762	29,052	37,349	21,469	2,706	(14.4)	42,900	5,550	(14.9)
営業利益	1,381	2,541	4,632	4,899	3,494	953	(37.5)	6,100	1,200	(24.5)
経常利益	1,475	2,718	4,917	5,257	3,611	893	(32.9)	6,300	1,042	(19.8)
四半期(当期)純利益	1,242	1,923	3,313	3,476	2,046	123	(6.4)	3,500	23	(0.7)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	43.90	67.94	117.05	122.84	72.31	4.37	(6.4)	123.66	0.82	(0.7)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	1.8	2.7	4.7	4.9	2.8	0.1		—	—	
総資産経常利益率(%)	1.9	3.4	6.1	6.5	4.4	1.0		—	—	
売上高営業利益率(%)	14.6	13.5	15.9	13.1	16.3	2.8		—	—	

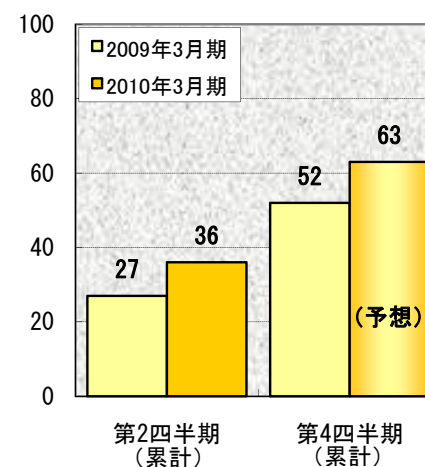
売上高(億円)



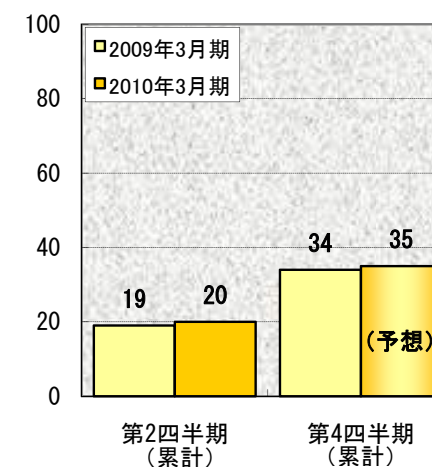
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

	2009年3月期				2010年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第2四半期	対前期末増減(率: %)	
					(累計)		
総資産	78,593	79,547	79,543	81,433	83,066	1,633	(2.0)
純資産	70,516	71,013	71,899	72,034	73,558	1,524	(2.1)
自己資本比率(%)	89.7	89.3	90.4	88.5	88.6	0.1	
1株当たり純資産(円)	2,491.35	2,508.95	2,540.29	2,545.10	2,599.00	53.90	(2.1)

※ 2010年3月期予想につきましては予想数値を修正しております。

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期	2010年3月期		2009年 3月期	対前年同期増減要因
	第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		
売上高	18,762	21,469	2,706 (14.4)	37,349	【製商品売上高】 《増加要因》・レミッチカプセルの販売開始 ・ツルバダ配合錠、セロトーン等の伸長 《減少要因》・グリチロン錠の販売終了 ・注射用フサンの減少
製商品売上高	18,615	21,321	2,705 (14.5)	37,045	
不動産賃貸収入	146	148	1 (0.9)	303	
売上原価	6,967	7,944	976 (14.0)	13,648	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加等
製商品売上原価	6,933	7,904	970 (14.0)	13,576	
不動産賃貸原価	34	40	5 (17.2)	72	
売上総利益	11,795	13,525	1,730 (14.7)	23,700	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費、販売促進費の増加等
販売費及び一般管理費	9,253	10,030	776 (8.4)	18,800	
営業利益	2,541	3,494	953 (37.5)	4,899	
営業外収益	179	126	△ 52 (△ 29.3)	366	
営業外費用	2	10	7 (250.7)	8	
経常利益	2,718	3,611	893 (32.9)	5,257	【特別利益】 《減少要因》・前年同期：(株)ミノファージェン製薬との取引基本契約の段階的終了に伴う一時金
特別利益	600	—	△ 600 (△ 100.0)	906	
特別損失	112	21	△ 90 (△ 80.9)	125	
税引前四半期(当期)純利益	3,206	3,590	383 (12.0)	6,038	
法人税等	1,283	1,543	260 (20.3)	2,561	
四半期(当期)純利益	1,923	2,046	123 (6.4)	3,476	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

品名	2009年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期	
		第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
注射用フサン ※	4,702	4,195	△ 506 (△ 10.8)
アンテベート ※	2,846	3,084	237 (8.4)
ツルバダ配合錠	1,912	2,903	991 (51.8)
ユリノーム錠 ※	1,829	1,870	40 (2.2)
レミッチカプセル(注2)	—	1,452	1,452 —
セロトーン	555	1,318	762 (137.2)
ウブレチド錠 ※	989	980	△ 9 (△ 0.9)
ドボネックス軟膏	670	876	206 (30.7)
ゼフナート	798	844	45 (5.7)
ビオスリー	617	706	89 (14.5)
ロコイド ※	620	633	13 (2.1)
その他	3,071	2,453	△ 618 (△ 20.1)
計	18,615	21,321	2,705 (14.5)

(注1) 自社品には、品名に※を付しております。

(注2) 「レミッチカプセル」は、2009年3月24日より販売を開始しております。

【参考】	自 社 品 売 上 高	11,870	11,671	△ 198 (△ 1.7)
	自 社 品 比 率 (%)	63.8	54.7	△ 9.1 —

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
9,241	7,780	△ 1,461 (△ 15.8)
5,655	6,020	364 (6.4)
4,334	6,400	2,065 (47.6)
3,614	3,620	5 (0.1)
314	3,810	3,495 (1113.1)
1,147	2,380	1,232 (107.4)
1,958	1,910	△ 48 (△ 2.5)
1,458	1,840	381 (26.1)
1,317	1,450	132 (10.0)
1,289	1,370	80 (6.2)
1,205	1,240	34 (2.8)
5,506	4,810	△ 696 (△ 12.7)
37,045	42,630	5,584 (15.1)

23,501	22,430	△ 1,071 (△ 4.6)
63.4	52.6	△ 10.8 —

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2009年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 対前年同期増減(率：%)	
			対前年同期増減(率：%)	
売上高	18,762	21,469	2,706	(14.4)
売上原価	6,967	7,944	976	(14.0)
売上原価率(%)	37.1	37.0	△0.1	—

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	2010年3月期予想 対前期増減(率：%)	
		対前期増減(率：%)	
37,349	42,900	5,550	(14.9)
13,648	16,100	2,451	(18.0)
36.5	37.5	1.0	—

4. 減価償却費

(単位：百万円)

	2009年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 対前年同期増減(率：%)	
			対前年同期増減(率：%)	
不動産賃貸原価	18	22	4	(25.6)
販売費及び一般管理費	204	215	11	(5.4)
製造費用	408	425	17	(4.2)
計	631	664	32	(5.2)

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	2010年3月期予想 対前期増減(率：%)	
		対前期増減(率：%)	
38	43	4	(12.8)
503	445	△57	(△11.5)
875	915	40	(4.6)
1,417	1,404	△12	(△0.9)

5. 研究開発費

(単位：百万円)

	2009年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 第2四半期 (累計)	2010年3月期 対前年同期増減(率：%)	
			対前年同期増減(率：%)	
研究開発費	461	778	317	(68.8)

(単位：百万円)

2009年 3月期	2010年3月期予想	2010年3月期予想 対前期増減(率：%)	
		対前期増減(率：%)	
1,191	1,873	681	(57.2)

(注) 当社は、親会社であるJ-Tとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤型改良や効能追加等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2009年 3月期	2010年3月期 第2四半期		2009年 3月期 第2四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率：%)		
(資産の部)					
流動資産	64,275	67,485	3,209 (5.0)	61,010	
現金及び預金	4,650	8,673	4,022	5,466	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金 (注)	34,342	28,623	△ 5,719	32,562	【キャッシュ・マネージメント・システム預託金】 《減少要因》・現金及び預金への振替
受取手形及び売掛金	14,473	16,488	2,015	14,228	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
有価証券	4,692	7,694	3,002	4,192	
たな卸資産	5,230	5,140	△ 89	3,546	【有価証券】 《増加要因》・金融商品の取得等
その他	885	864	△ 20	1,015	
固定資産	17,157	15,581	△ 1,576 (△ 9.2)	18,537	
有形固定資産	6,341	6,431	90 (1.4)	6,840	
建物	3,476	3,579	103	3,601	
機械及び装置	1,594	1,610	16	1,496	
土地	702	702	—	1,189	
その他	567	538	△ 28	554	
無形固定資産	678	645	△ 32 (△ 4.8)	790	
投資その他の資産	10,138	8,503	△ 1,634 (△ 16.1)	10,906	
投資有価証券	2,645	2,881	235	3,051	
長期前払費用	4,356	4,043	△ 313	3,980	
その他	3,168	1,610	△ 1,557	3,905	【その他】 《減少要因》・長期預金を現金及び預金へ振替 (1年内)
貸倒引当金	△ 32	△ 31	0	△ 31	
資産合計	81,433	83,066	1,633 (2.0)	79,547	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

(単位：百万円)

	2009年 3月期	2010年3月期 第2四半期		2009年 3月期 第2四半期
		対前期末増減(率：%)		
(負債の部)				
流動負債	8,190	8,147	△ 42 (△ 0.5)	7,525
買掛金	4,148	3,120	△ 1,027	2,986
未払法人税等	555	1,579	1,024	1,428
賞与引当金	1,128	1,178	50	1,154
返品調整引当金	3	4	0	3
その他	2,353	2,264	△ 89	1,951
固定負債	1,208	1,360	151 (12.6)	1,008
退職給付引当金	707	950	242	583
長期預り敷金保証金	365	310	△ 54	339
その他	135	99	△ 36	85
負債合計	9,398	9,507	109 (1.2)	8,534
(純資産の部)				
株主資本	71,861	73,312	1,451 (2.0)	70,733
資本金	5,190	5,190	— (—)	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	— (—)	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	61,110	62,562	1,452 (2.4)	59,980
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	8	8	△ 0	9
別途積立金	56,230	58,630	2,400	56,230
繰越利益剰余金	3,573	2,626	△ 947	2,443
自己株式	△ 854	△ 855	△ 0 (0.1)	△ 853
評価・換算差額等	172	245	72 (42.1)	280
その他有価証券評価差額金	172	245	72 (42.1)	280
純資産合計	72,034	73,558	1,524 (2.1)	71,013
負債・純資産合計	81,433	83,066	1,633 (2.0)	79,547

対前期末増減要因

【買掛金】
《減少要因》・商品仕入の減少

【未払法人税等】
《増加要因》・前期：旧土気研究所跡地の売却に伴う
法人税負担の減少（評価損の損金算入）

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期	2010年3月期		2009年 3月期	対前年同期増減要因
	第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)	対前年同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	3,206	3,590	383	6,038	
減価償却費	631	664	32	1,417	
受取利息及び受取配当金	△ 167	△ 112	54	△ 324	
残余財産分配金	—	—	—	△ 103	
売上債権の増減額(△は増加)	1,080	△ 2,015	△ 3,095	835	【売上債権の増減額】 《減少要因》・売上高(売掛金)の増加
たな卸資産の増減額(△は増加)	356	89	△ 267	△ 1,326	
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,472	△ 1,027	444	△ 309	
利息及び配当金の受取額	174	112	△ 61	330	
法人税等の支払額	△ 1,335	△ 529	806	△ 2,642	【法人税等の支払額】 《増加要因》・旧土気研究所跡地の売却に伴う 法人税支払額の減少
その他	△ 867	503	1,370	△ 653	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,606	1,273	△ 333	3,260	【その他】 《増加要因》・前年同期：未払金の減少、販売権の取得、 未収入金の増加等
定期預金の預入による支出	—	△ 6,500	△ 6,500	—	
定期預金の払戻による収入	50	—	△ 50	50	
有価証券の取得による支出	△ 996	—	996	△ 996	
有価証券の売却及び償還による収入	893	1,693	800	893	
有形固定資産の取得による支出	△ 502	△ 629	△ 126	△ 952	
有形固定資産の売却による収入	—	—	—	494	
無形固定資産の取得による支出	△ 34	△ 84	△ 50	△ 88	
投資有価証券の取得による支出	—	△ 814	△ 814	△ 299	
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	2	△ 498	1,003	
残余財産の分配による収入	—	—	—	126	
その他	△ 1	△ 4	△ 2	△ 3	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 90	△ 6,336	△ 6,245	228	
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0	△ 2	
配当金の支払額	△ 481	△ 594	△ 113	△ 905	【配当金の支払額】 《減少要因》・期末配当金の増加
リース債務の返済による支出	—	△ 39	△ 39	△ 82	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 481	△ 634	△ 152	△ 990	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,033	△ 5,697	△ 6,731	2,497	
現金及び現金同等物の期首残高	39,489	41,987	2,497	39,489	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	40,523	36,289	△ 4,233	41,987	

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

	2009年3月期		2010年3月期		2009年 3月期	2010年3月期予想	
	第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)				対前期増減(率：%)
有形固定資産(注1)	488	653	164	(33.7)	906	1,109	203 (22.4)
無形固定資産(注2)	44	90	46	(105.1)	98	366	268 (274.0)
計	532	743	210	(39.6)	1,004	1,476	472 (47.0)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とする情報システムへの投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク